

「富春茶会」

四月十九日(日)

茶人

帆足耕一郎

お客様と共に、和やかなひとときを過ごせればと存じます。
当家当主が淹れる煎茶と
手作りのお菓子をお楽しみください。

- 時間 ①午後2時～2時40分
②3時～3時40分
③4時～4時40分
(各5名 要予約)

場所 富春館 母屋

会費 1,000円+税



4月18日に予定していました、真砂秀朗ネイティブフルーツ酒蔵コンサート及び食事は、延期いたしました。
20周年記念としての催しは、また後日ご案内させていただきます。

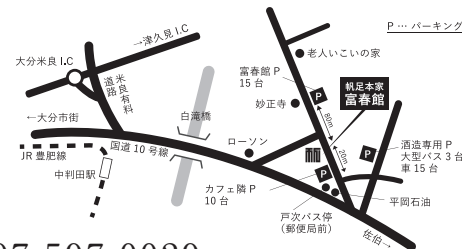


帆足本家 富春館

〒879-7761 大分県大分市中戸次4381

<http://www.hoashi-honke.com>

TEL 097-597-0002 FAX 097-597-0029



「展覧会」

四月十八日(土)～二十六日(日)

11時～17時

月火定休日

真砂秀朗

書画と音展

真砂三千代

春の衣

「富春茶会」

四月十九日(日)

茶人 帆足耕一郎

真砂三千代 春の衣 4月18日(土)～4月26日(日)

「春をまとう」

やわらかな布のずっとむこうに、糸を紡ぐ人の手、機(はた)のリズム、草木の力を感じます。布は自然のエネルギー、巡る季節の感動をころもに映し春の息吹をお届けします。心癒されるお茶の時間をカジュアルに楽しめる衣としての茶衣(さい)もご覧下さい。



真砂 三千代 Michiyo Masago 衣作家



インドへの旅をきっかけに、一枚の布を纏うことにアジアの衣の原点を視つめ日本古来の 結ぶ・重ねる・ひねる などの伝統的な着付による衣制作をするようになる。染織家とのコラボレーション作品の発表を含め、自然素材の布でつくる衣 Afa、オーガニックコットンの日常着ブランド Lifeafa を主宰。

著書に「風着 color of India」(文化出版局)

1998年 石垣昭子、真木千秋との共作「真南風」をリプトンギャラリー・ニューヨークにて発表。

1999年「白の領域」秦泉寺良子との共作展、ギャラリーギブリ・東京。

2010年「KIMONO Afa」東洋の衣服のショー、ピラニッチ・ミラノにて開催。

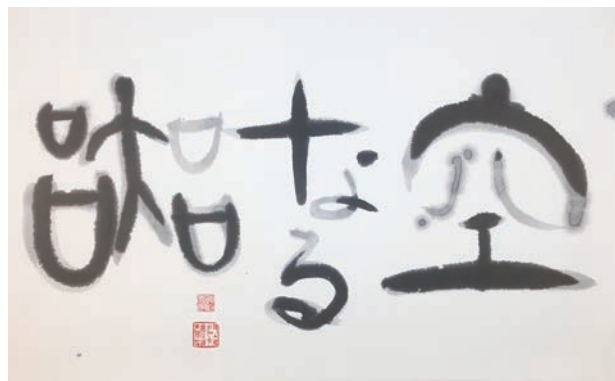
2016年「真砂三千代 衣展」茶家十職・台北

2018年 ～「真砂三千代 衣展」奉常・杭州。

真砂秀朗 書画と音展

四月十八日(土)～二十六日(日)

楽曲においても絵画においても、その制作の基にあるものは、この星のこの国に生まれた自分の奥深くに流れるスピリットを表現することであった。墨書は文字の造形性と言葉の意味性が織成すとても興味深い領域であり、同じように源に流れるものを表現する喜びを与えてくれる。



真砂 秀朗 Hideaki Masago アーティスト/ネイティブフルート奏者



ヴィジュアルアートと同時に音楽で表現をしている「絵と音」のアーティスト。'91 AWA レーベルを発足。アルバム「しおのみち」「弓の島」等をプロデュース。北アメリカ南西部プエブロインディアンの地への旅を経て、'94 水彩画個展「たまたうた」開催と同時に初のソロアルバム「Chaco Journey」を制作。以後ネイティブフルートの音色の可能性を求め、14作の多様なソロ、コラボアルバムをリリース、各地でコンサートや展覧会を重ねる。この数年は絵の延長として墨書に表現が及び、書の造形と言葉が織成す新たな領域を広げている。'91～'02「鼓童 Earth Celebration」、'05 愛地球博・地球市民村のシンボルデザインと会場アートを担当。著書に詩画集「星の神話さがし」、エッセイ集「畔道じかん」、絵本「レインボーブックス」シリーズ(ミキハウス出版)など。

www.awa-muse.com